

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2010.11.20
Vol. 100

【特集】
APEC 女性リーダーズ・
ネットワーク(WLN)会合

CONTENTS

- APEC WLN 会合
 - 全体パネル 1
 - WLN 関連イベント横浜
 - APEC WLN 会合の 3 日間
- JWLI(女性指導者育成事業)
2010 年生ボストン研修報告
- 2010 年 BPW アジア太平洋地
域会合報告
- 女性のエンパワーメントのため
の 7 つの指針(WEP)
- お知らせ
内閣府・日本 BPW 連合会 共催
APEC WLN 関連イベント in 仙台

BPW 連合会ニュースレター

発行人：松原敏美 広報委員会編集

日本 BPW 連合会 事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木
2-21-11 婦選会館 303
TEL.03-5304-7874
FAX.03-5304-7876
e-mail: office@bpw-japan.jp
ホームページ:
<http://www.bpw-japan.jp>

APEC女性リーダーズ・ネットワーク(WLN): 全体パネル・ディスカッション 1(日本BPW企画担当) 報告

APEC WLN(女性リーダーズ・ネットワーク)会合は、APECに加盟する21の国と地域の産業界、学界、行政、民間団体などの女性リーダーからなるネットワークです。毎年APEC議長国で開催されます。今年は日本が議長国。9月19日より3日間、東京でのWLN会合が開催され、最終日には、APEC本会議に提出する提案書がまとめられました。日本 BPW 連合会からは、松原理事長が企画委員として、平松国際委員長が実行委員として参画し、企画から提案書作成にまで参画しました。

BPW が企画団体となった、全体セッション、パネル・ディスカッション1「女性たちによる経済活動創造への挑戦」には、BPW インターナショナルからエリザベス・ベンハム会長がコーディネーターとして参加しました。パネルでは、提案書につながる論議が、会場の参加者も交え活発に行われ、400 名を集めた会場からは大きな拍手が続きました。

3日間のWLN会合の翌 22 日には、横浜市主催の関連シンポジウムが開かれ、BPWから平松昌子氏がコーディネーターをつとめました。

また、11 月 27 日(土)には、仙台で関連シンポジウムが内閣府と日本 BPW 連合会の共催で開催します。(8頁参照)

「第 15 回 WLN の提言を歓迎」と、APEC閣僚会議共同声明

11 月 10 日、12 日に横浜で開催されたAPEC閣僚会議共同声明には、①組織における女性のキャリア構築 ②女性による起業の実現 ③女性のための新たな経済機会の創出という3本柱から構成される第15回WLN提言を歓迎」と具体的に記載されました。また閣僚会議及び首脳会議(13 日、14 日)において採択された成果文書には、WLN提言を踏まえた以下のような女性の活躍の重要性が記載されました。

- ・女性、若者、高齢者その他すべての層に対し、より多くより良い雇用を創出する。
- ・平等な機会を提供しつつ、教育及び訓練の強化し、セーフティーネットの改善を可能にする政策を実施する。
- ・地域経済に貢献する女性の潜在力が完全に活用されないままとなっていることを認識する。
- ・ビジネス及び政府における女性の起業家精神及びリーダーシップの促進により、ファイナンス、教育、訓練、技術、保健制度への女性のアクセスを改善する。

(以上
内閣府仮
訳)



大会 2 日目
パネル 1

APEC女性リーダーズ・ネットワーク(WLN)会合
全体セッション パネル・ディスカッション1
「女性たちによる経済活動創造への挑戦」

日時:2010年9月20日(月)

場所:京王プラザホテル エミネンスホール

◆コーディネーター

エリザベス・ベンハム/BPW International 会長

◆パネリスト

- ・岩田喜美枝氏/株式会社資生堂 代表取締役・執行役員・副社長
- ・パンジー・ウォン氏/ニュージーランド女性政策・民族問題担当大臣
- ・アメロウ・レイエス氏/フィリピン国家女性委員会 議長・女子大学経営
- ・林文子氏/横浜市長
- ・ニコール・ホロウズ氏/マッカーサー・コール会社 代表取締役

全体会パネル・ディスカッション1のこと

日本 BPW 連合会国際委員長 平松昌子

WLN2日目、「パネル・ディスカッション1」が終了したとき、BPW 関係者はものすごくホッとした。理由は、このパネル『女性たちによる経済活動創造への挑戦』が、企画団体による最初のプログラムであり、その成否が全体の成否に大きく影響するといわれ続けてきたからである。準備はしたが、不安はあった。

- 1) 各パネリストが、当初の意図にそった発言をしてくれるだろうか
- 2) 会場の参加者が、手短に、相応しい発言をしてくれるだろうか
- 3) コーディネーターが提案書に盛り込める結論を導きだしてくれるだろうか。

そのために、各パネリストへの事前折衝、当日使用されるパワーポイントの画面チェック、発言時間の管理、会場マイクの仕切りなど諸々の作業にBPWならではの実力者たちが活動した。協力は国内だけではない。BPW International の協力も大きかった。世界を飛び回る会長との連絡、パネリスト候補の推薦や資料の提供など関係国の仲間がメール一つで動いてくれた。各パネリストには、女性の事業展開についてキーワードをお願いしていた。

パネル・ディスカッションでのパネリストはこんな意見を述べた:



写真:パネリスト(左より)岩田喜美枝氏、パンジー・ウォン大臣、アメロウ・レイエス教授、林文子市長、ニコール・ホロウズ氏

- 1) 岩田喜美枝氏(株式会社資生堂代表取締役・執行役員・副社長)人は経営資源であり、女性を活用しなければリソースの無駄使い。男性中心のモノカルチャーは変化の時代に対応することは難しい。



コーディネーターのエリザベス・ベンハムBPW International 会長

- 2) パンジー・ウォン氏(ニュージーランド女性政策・民族問題担当大臣)ニュージーランドは、世界で初めて女性が参政権を獲得した国。国会議員の3分の1が女性で、女性の登用が高いほど、経営成績は良い。女性だからではなく優秀だから活用する。
- 3) アメロウ・レイエス氏(フィリピン国家女性委員会議長・女子大学経営)女子教育は、新しい秩序を生み出す苗床を創るような作業である。女性の経済活動はその独自性「ウイメノミクス Womenomics」で考えること。
- 4) 林 文(横浜市長)市長職は女性のポジションに向いている。営業と共通するキーワードは「おもてなし」。共感と信頼が重要であり、女性は共感力があるので自信を持って挑戦を。
- 5) ニコール・ホロウズ氏(マッカーサー・コール会社代表取締役)女性がリーダーになるためには、迅速に行動に移す機敏性と柔軟性それに適切に状況を読むことが必要であり、そのためにWLBを含む環境整備が重要だ。

引き続き会場の参加者から意見が求められ、多くのひとがマイクの前に並んだ。その主なものは:
☆男性の CEO をこうした会合に招待し理解を深める必要がある。

☆若い女性を巻き込むことが必要。

☆20兆ドルの消費を支えるのは女性、女性の経済効果を認識せよ。

☆こうした会合に参加することは仕事にプラスになる(男性参加者)。



質問する BPWI 副会長

☆ 日本に於ける企業の95%が中小企業だが、そこでは福利厚生施設の充実が難しい。

これらを踏まえてコーディネーターのエリザベス氏は、
 ・女性が役員会に参加すべきであり、
 ・女性が十分に役割を担うということが、経済の成長の鍵を握るものであり、
 ・APEC 域内で女性が国際取引や中小企業での経済成長の鍵を握るのが女性であると締めくくった。

パネルを終えて会場で聞こえた声。「こんな素晴らしい話、普通では絶対聞けないのになぜもっと参加者を呼ばなかったの」というもの。
 このとき、このパネルが成功したと思った。



2010 APEC WLN 関連イベント

“キャリアを拓く 私らしく”

日時: 2010 年 9 月 22 日 (水) 14:00~16:00

会場: 横浜市 横浜シンポジウム 9 階

主催: 内閣府男女共同参画推進連携会議、
 横浜市、横浜商工会議所

パネリスト:

林文子氏/横浜市長

ウー・フイ・ファン氏/中国アモイ電子株式会社取締役社長

谷口郁子氏/イムノエイト株式会社代表取締役社長

コーディネーター: 平松昌子/元日本 BPW 連合会会長



林文子横浜市長と平松昌子 BPW 元会長

横浜市 WLN 関連イベント

“キャリアを拓く 私らしく” に参加して

日本 BPW 連合会 東京クラブ会長 安陪陽子

快晴の横浜ベイブリッジと海を眼下に見る素晴らしい眺望の会場で、随所に、この関連イベントにかける横浜市の熱い思いを感じ取りました。

シンポジウムは、「女性が経済活動に参画することの意義、夢を実現させて自分らしく働き続ける」をテーマに、素晴らしいキャリアを持つパネリスト3名から、自身の信念や築いてきたキャリアについて語られました。

「その第一歩はどういうところから始まったのか」、そして、「現在のポストを得るまでに、どのようなチャレンジをしたのか」、などが語られ、最後に3名それぞれから「女性を応援するメッセージ」を、いただきました。コーディネーターの平松昌子さんの手際良くユーモアに富んだ進行は、パネリストも会場の雰囲気も和やかにしてくれて、とても楽しく、有意義な会になりました。このあと、参加者全員の記念写真を撮りました。

会場から発言する
 国際BPWプロジェ
 クト委員長



地元和太鼓演奏



次いで、交流会がレセプションホールで行われ、老若男女が参加の若葉太鼓を楽しみながらティ・ブレイクと初めて会う方々との交流の時を持ちました。参加者は国内外から164名と盛会でした。

横浜エクスカーショ: 三溪園で



APEC WLN 会合に参加した 3 日間

土田アイ子 日本 BPW 企画委員長

2010.9.19～9.21 東京新宿京王プラザホテルはさながら、国際会議場。3日間、APECに加盟する国の参加者が、会場内はもちろん、ロビー、喫茶室、展示室等で、活発な意見交換の輪を作っていました。

「2010APEC女性リーダーズ・ネットワーク(WLN)会合」主催は内閣府、会合運営委員会。わがBPWの平松昌子国際委員長は運営委員の重鎮を担って、展示パネル



の写真に紹介されています。BPWの存在と会員の誇りが胸を熱くしたのは、私だけではないと思います。

WLNは、APECに加盟する21エ

コノミーの産業界、学界、行政、民間団体などの女性リーダーからなるネットワーク。

APECの関連の会合の一つであり、男女共同参画社会の実現のために女性達の経済活動の発展に寄与することを目的として、毎年APEC議長が持ち回りで開催。1996年第1回がフィリピンで開催され、これまで14回の会合を通じて、のべ4000人を超える女性達が参加し、APEC首脳、中小企業担当・貿易担当・女性問題担当の大臣に対する提言の作成に関わっています。

今年は日本が議長国。参加者は約600名。当日別室で傍聴される方も多く、定員オーバーで、ロビーで状況を聞く方もいるほど。

テーマは、「女性と経済」に焦点を当て、15回目は、女性の活動があらゆる分野、特に経済分野で進展すること

るな視点で追及していくダイナミックな会合となりました。

9.19 1日目

14回WLNの報告、そしてWLNの役割と今後の課題が討議され、夜は歓迎レセプション。日本文化を織り交ぜた、交流も活発に繰り広げた有意義な一夜でした。



9.20 2日目

いよいよBPWの出番です。

エリザベス・バーハムBPWI会長のコーディネーターによる全体パネル1の開催。パネリストと会場が一つになって最高の内容でした。

夕方からは8つのエクスカージョン。私の参加は、60名の参加者と浅草散策と富永照子浅草おかみさん会会長の講演・そしておそば中心の会食。浅草の盛り上げ、と商店発展は女性の力によるもの、男女平等で街の活性化に成果を上げてきたことを力説。この富永さんを推薦したのも、平松さんの尽力。3年前、平松さんから15回の日本の議長国が決まり、おかみさん会会長にひと肌ぬいでいただこうと、浅草のお店を訪ね、ぜひ協力をと、話したことが、実現したものです。

9.20 3日目

この日も充実したパネルが開催、BPW会員の活躍が光りました。

15回WLNの声明・提言を全会一致で確認し、来年サンフランシスコで再会を約し、閉会。

日本 BPW 連合会のWLNプロジェクト委員になって、感動の3日間でした。



で、市場や社会が活性化されていく可能性を、グローバ



写真: (左上) 夕食会で挨拶する蓮舫氏。

(左下) BPWI 正・副会長と連合会メンバー。

(右上) 昼食会。(右下) ベンハム会長を見送るメンバー。

Japanese Women's Leadership Initiative (JWLI)

日本 BPW 連合会はこの日本女性指導者育成支援事業のカウンターパートとして、今年も4名のフェローを選考し研修に送り出しました。その参加者からの報告を抜粋して掲載します。

2010 年 JWLI ボストン 研修に 参加しての報告

第4期 2010 年生) フェロー 櫻井啓子

美しい歴史の街、ボストンでの素晴らしい研修を終え、学ぶ喜びと、出会った人々、研修での会得した経験が、既に人生のハイライトとして、新たな私の歴史になりました。

昨年、永年のビジネスキャリアを卒業した私は、この様な素晴らしい経験を一年後にすることになるなど、想像が出来ませんでした。思いがけない人生の素敵さをもたらして下さいた皆様に、改めて感謝したいと思います。

私は、幸運にも20代から60歳まで素晴らしい仕事の機会に恵まれ、広報担当からスタートし、最後はマネジメントとして、興味深いビジネス経験を得る事が出来ました。いずれは、この経験とエネルギーを若い世代の女性たちの為に活動していこうと新たな使命感を持っていた折、偶然にも BPWJ に出会い、このボストンの研修を知る機会を得ました。

JWLI の研修の概要、其のスタートの Fish Family Foundation の使命感と活動に、深く感動いたしました。そして、是非この研修に参加させていただきたいと強く望む気持ちを持ちました。私自身ビジネスリーダーのキャリアの道から、NPO 活動の道への変換を是非この研修を通して、実践していきたいと切望するようになりました。

多いなる期待感を持ってスタートした研修は、私の想像をはるかに超えた素晴らしいプログラムでした。アメリカの「内側」に入り、現実の NPO 活動から、その社会問題の深さと、取り組む人々の「心」に触れる事、これは、こうした研修プログラムであればこそ可能とするものです。また、NPO 組織の新しい世代である「NewProfit」のスタッフとの会議などを通して、いまやアメリカの非営利組織の在り方が新しい時代に突入している事も学ばせていただきました。

毎週、その週



に体験した中から、自分の感じた事をウィークリージャーナルとして提出した報告書には、私が各週、心で感じた正直な感想が記されています。此处では紙面の都合上、ボストンでの4週間を週ごとにまとめ、タイトルだけをお伝えします。

第1週

全員がそろったオリエンテーションでは、身の引き締まる思いで、フィッシュ夫人の夢と思いを伺い、その週、すべての時間を私達4人の為に費やして下さいたウェヴ オヴ ベネフィットの、クロフォードさんの情熱に圧倒され、素晴らしいコミュニティ財団ボストンファンデーションでの CEO であるグローガンさんの革新的な活動に感動した1週間でした。初めてのハーバードでの講義には、全員緊張でのぞみました。

◆典型的な、アメリカの社会貢献の心をもった指導者達
◆1人の女性が、社会の違いや変化をもたらす◆NPO は、新しい発想の源◆ハーバードで学ぶ！1年前に想像できなかった事

第2週

ビジネスの経営のスキルを全てに取り入れ、ファンドレイジングに成功しているエリスメモリアルの CEO ディレイニーさんと1週間、人との関わりを、誠意をもって築き、その結果、彼の信頼性の高さが、経営力を高めている素晴らしい NPO。また彼の夫人、アンヌマリーを中心としたファミリー・ジャスティス・センターでの、女性マネージャーたちの協働の秘密を学びました。

◆パッションから一転して、ビジネス型の組織に◆資金調達は、NPO の選択の余地のない義務、スペシャリストになろう◆ファンドレイジングは、ビジネスサイドの資金提供者の言葉を話し、スタイルを使って◆女性指導者たちの、協働の成功の秘密、相互信頼と相互尊敬◆ニューポート市と下田市、黒船祭りの繋がり

第3週

シモンズマネージメントスクールでの緊張と努力の1週間。全角度からの評価により、改めて自分自身を分析し、理解し、自分のコミュニケーションスタイルを深く知ることに、周りの人たちとのコミュニケーションが極めてスムーズに行うことを可能となる事、そして何よりもこの研修での素晴らしい出会いが新たなネットワークとして、今後の活動に繋がってくる事、などなど素晴らしい GIFT 贈り物をいただいた1週間でした。

◆私の将来への大きな贈り物◆私の再発見◆私のコミュニケーションスタイルの再確認◆新しいネットワーク、最大の贈り物

第4週

アメリカの社会問題に潜む複雑な課題、移民アジア女性に対する多方面からの支援のアプローチは、この ATASK だけのユニークな活動。アフリカンアメリカンやヒスパニック、白人貧困層とは雰囲気異なるキメの細かいプログラムの展開は、優秀なスタッフ達の、誠意と工夫と行動力によって、成り立っている事を学びました。

また、NPO の新たな展開の組織、ニュープロフィットは、社会起業家の経営を指導し、革新的な NPO を育てるグ

ローバルなアプローチの組織です。ダイナミックなNPOの進化を感じる注目の組織を訪ね、担当者たちと直接に話しあう貴重な機会を持ってました。

◆多方面からの思いやり◆アジアの為のタスクフォース
◆ニュープロフィット、新しいプロフィットの考え方



この4週間の研修は、大きくふたつ、社会貢献の在り方と、女性のリーダーシップについて学ぶものでした。JWL Iボストン研修のユニークさは、NonProfitの組織について、本来では決して経験する事の出来ない「手とり足とり」のキメの細かい学習を通して、自らの目指す社会活動の基本と、経営について学ぶ事が出来ます。また人間として女性として、新たに社会の問題を解決する為の変化を起こす際の、重要なリーダーシップについて、ネットワークについて、コミュニケーションについて、チームワークについて・・・極めてプロフェッショナルなプログラムを体験する事が出来ます。

現在私たちフェローを受け入れてくださっているNPOの支援対象が、ドメスティックヴァイオレンスであり、子供の早期教育、高齢者対策であり、アジア女性の救援であるゆえに、JWLI研修がそれらのテーマのみに限られるという印象があります。しかし、実際には、アメリカにおける、より広い社会貢献の在り方を学ぶ素晴らしい機会であるととらえた方が良くかもしれません。

今後の研修の参加者の可能性を考慮すると、フェローは幅広い対象の方たちが考えられると思います。ビジネス界においても、企業として社会貢献活動を担当する責任者の女性達、現在NPOやNGOに属していて、今後の発展の為にリーダーとしての可能性が高い女性達、新たに社会活動をスタートする計画をもつ女性達、などなど、将来社会貢献活動を通して、リーダーシップが期待されるすべての女性たちが、対象として考えられます。

私は、個人として、今後研修を生かして、どのような社会変化をもたらす事が出来るか実際に活動を開始しますが、同時に、この素晴らしい研修の実態を広く知らせ、より多くの応募の方々に繋がる広報活動を、BPWの一員として、またJWLI卒業生として、行っていききたいと思います。

2010 年 BPW アジア太平洋地域会議 開催 ～あのマライオンが育っていた～

シンガポール 2010年10月

平松昌子日本 BPW 連合会国際委員長

BPWのアジア太平洋地域リージョナル・ミーティング (APRM)が、10月15日～18日の日程でシンガポールのグランド・コプトン・ホテルで開催された。

テーマは「変化に向けて女性の権限強化を＝Empowerment of Women to Make a Difference」。参加者は18の国と地域から130人(圏外のスイスも含む)と記録にある。

◇ 会場には、BPW International リズ・ベンハム会長、ガブリエラ・C及びフリーダ・Mの両副会長、パット前会長ら BPW の重鎮が顔をそろえ、他にも地元シンガポールは勿論、オーストラリアや台湾が会長を先頭に大デレグーションを送り込んでいた。

◇ 日本からの参加者は、平松1人。日本 BPW として「東京での APEC WLN の成果を報告し、今後の活動への提案」を課題として参加した。結果として合計3回の発言機会が提供されたが、準備していたパワーポイントに手を加えて体裁と内容を補修し、3本を現地で緊急作成、大奮闘を余儀なくされた。



～ 今回の議論で注目すべきポイントは 大きく3点～

- 1) 規約及び付則の改正に関する議論
- 2) 女性の経済活動に関する議論
- 3) ヘルシンキ・ kongressでの役員候補作戦だった。

1)規約改正に関して

先のメキシコ kongressでの議論を踏まえたものだが、焦点は:

- ① 会長候補者の条件および役員の構成
- ② 各国の連合会の構成:ロシアのような巨大国家は地域分割をしてはどうか
- ③ 分割した場合の国と分割地域の投票権はどうなるか
- ④ 規約と付則について: kongressでの採決を必要とする規約を付則に移せないか

提案を主導しているのはジーン・ムウレイ事務局長(規約改正作業部会議長/AU 選出)で、a) 初日に設定されたワークショップでの議論、b) 会期中に別途設定された各国会長会議、その合間を縫っての個別折衝、c) 最後の全体会における議論を経て結論のないまま、持ち越しに。(——その後、各国連合会に資料が配付された)

2) 女性の経済活動に関する議論

9月の APEC WLN 会合での議論、これに先立つ3月に打ち出された「女性の経済活動向上の指針 (Women's Empowerment Principles—Equality Means Business)」などを踏まえ、女性と経済活動がワークショップや全体会でのテーマとして取り上げられた。経済活動における女性の重要性という視点が、働き方 (WLB) や女性の起業 (成功例報告) などでも明確に打ち出されていた。日本として、東京での WLN 経験から、今後 (次回はアメリカだが) BPWとして WLN にコミットする必要性を主張しておいた。



3) ヘルシンキ・コンgressを前に次期役員候補について期間中2度にわたって各連合会会長会議が設定された。議題は規約改正と次期役員人事で、人事については、議論の末この会合でリージョナル・コーディネータ候補を指名することとなり、オーストラリアと台湾が候補者を発表。投票の結果、オーストラリアのスーザン・ジョーンズがこの地区がおす候補に決まった。次期会長・副会長等、役員選挙について運動が始まっていた。特に次期会長の選出では規約改正が影響しそうである。

◆～シンガポールって素敵～

会合を終えて月曜日、希望者は地元メンバーのご案内で、市内見学に出かけた。



1) 南東アジア学研究所＝

女性問題、経済問題、イスラム問題などこの地域に於ける経済・社会・政治の問題についての研究支援、論文を出版物として世に送り出す仕事をしている。勿論、デジタル出版も併行して行われている。「Gender Politics in Asia」という1冊を買い求めた。

2) Bugis Street 「ブギス通り」という都市開発区域＝

嘗ては乱雑な地区であったところを新たな商業地区として開発中。エネルギーに溢れていた。その担当者の1人が、BPE シンガポールの会員で、解説も。日本ではどこかな？ 巨大アーケード街地区に店舗ビルが併存していた。

3) テーマパーク？レジャー地区

一つの島が国家というシンガポールだがレジャー施設は充実している。その中の一つリフトに乗って山に

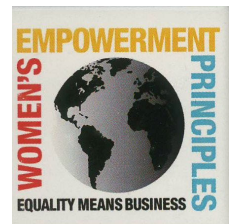
登りゴーカートで降りてくる施設がある。本当はみんな嬉しそうに手を振って降りるのだが、怖い顔をしている自分がいた。



久しぶりにシンガポールで観光地を歩く時間をもてた。そこで見たのは以前海岸公園で港を見張っていたシンガポールのシンボル可愛い「マーライオン」が、巨大に成長して丘の上から港を睥睨している姿だった。経済成長と共にマーライオンも育つのだと、強烈な印象が心の中に棲み込んだ。

BPWInternational も推進する

女性のエンパワメントの 7つの指針



企業や民間団体が職場、市場、地域社会で女性のエンパワメントに取り組む上で実践的な手引きになるようにと、ユニフェムと国連グローバル・コンパクトが協同策定した7つの指針。BPWI もこれを支援することを決めている。WLN会合でも推進された。

■女性のエンパワメントのための指針

～平等はビジネス向上の鍵～ (Women's Empowerment Principles — Equality Means Business)

1. ジェンダー平等に向けた企業経営者のリーダーシップ構築
2. 職場でのすべての女性・男性の公平な待遇—人権尊重と差別撤廃への理解と支持
3. すべての女性・男性従業員の健康、安全、福祉の保障
4. 女性のための教育、研修、専門性開発の促進
5. 女性のエンパワメントにつながる事業開発、流通、マーケティングの実践
6. 地域社会の主体的活動と啓発による平等の推進
7. ジェンダー平等達成への進捗状況の把握と公表
(ユニフェム プレス・リリースより抜粋)

2010年度 第5回 BPW 執行役員会開催

- ・日時:9月30日(木)
- ・場所:連合会事務所
- ・JWLI(日本女性指導者育成支援事業)について
来年度もフェロー派遣事業およびフォーラム事業を実施することとし、そのためのプロジェクトチームを発足させる。
- ・内閣府共催事業について
11月27日に仙台で開催する「地方発！女性と経済～地域を変える女性事業家たち～女性の元気が日本経済を元気にする」についての予算提案を承認した。
- ・その他、CSW インターン派遣事業、アジア太平洋地域会議、ヘルシンキコングレンス、NGO 日本女性大会、ホームページのリニューアル等について討議をした。

また、APEC 女性リーダーズ・ネットワーク会合(9月19日～21日)、特に9月20日、BPW が担当したパネル・ディスカッション1についての報告があった。

❖ 日本BPW連合会2010年度 ❖

・ブロック研究会

・ヤングスピーチコンテスト地区大会

■ 北海道・東北ブロック研究会

9月19日(日)、山形国際ホテルで開催されました。

■ 近畿ブロック研究会

10月17日(日)、和歌山ビッグ愛で開催され、地元新聞に於いて好評を博しました。

■ 関東・山梨ブロック研究会

11月20日(土)、甲府ホテルで開催されました。

ブロック研究会・ヤングスピーチコンテストの詳細は、次号2010年度ブロック研究会特集でお知らせします。



お知らせ

WLN 関連シンポジウム 地方発！「女性と経済」

～地域を変える女性起業家たち～ 女性の元気が日本経済を元気にする！

開催日:2010年11月27日(土) 13:00～16:30(受付 12:30～)

会場:エル・パーク仙台 スタジオホール

主催:内閣府・男女共同参画推進連携会議

特定非営利活動法人 日本 BPW 連合会

後援:宮城県・財団法人せんたい男女共同参画財団

協力:農林水産省東北農政局

社団法人 農山漁村女性・生活活動支援協会

東北を中心に活躍する女性やそれを応援する方による、起業の契機、自然・文化を活かしたふるさと活性化、地域への波及効果、経済的な効果、女性の地位向上や男女共同参画に結びついた点、などの事例報告と、今後の女性の起業家が事業を拡大し、地元を活性化するに際しての問題点の共有化及び解決策・ノウハウの情報交換今後の展望と後に続く女性農業者・起業家等へのエールなど……。

・コーディネーター

齋藤 京子 さん/(社)農山漁村女性・生活活動支援協会 専務理事

・1部事例報告者 兼 2部パネリスト

新関 さとみ さん/さとみの漬物講座企業組合理事長

渋谷 文枝 さん/農家レストラン「ふみえはらはん」経営

萱場 市子 さん/農家レストラン「もろや」オーナー

庄子 知秀 さん/株式会社 藤崎 食品部商品担当係長(バイヤー)

こちらのシンポジウムの報告は会報に掲載予定です。

2010 年 NGO 日本女性大会

ジェンダー・ギャップ解消への挑戦 貧困・格差のない平和社会を

12月4日(土)10:00～17:00

科学技術館地階 サイエンス・ホール

日本 BPW 連合会のホームページが新しくなりました。

<http://www.bpw-japan.jp/japan>

編集後記

APEC WLN 会合での、BPW 連合会企画のプログラム成功を皆で喜んでいるうちに、既に11月も半ば。やっと9月のWLN報告をWeb版でお届けする運びとなりました。そろそろ仙台での、WLN関連イベントも来週に迫ってきてしまいました。また、この間リニューアルした新しいホームページも、なかなか好評です。まだご覧になっていない方は、どうぞ一度訪ねてみて下さい。(やなぎしたまちこ)